記者発表資料

平成２４年度
湯沢河川国道事務所事業概要

平成２４年　４月　６日

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局
建設新聞社秋田支局、秋田建設工業新聞社、秋田建設新報社

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
℡０１８３－７３－３１７４（代表）

河川関係：副　所　長	土田（つちだ）　恒年（つねとし）	（内線２０４）
工務第一課長	古関（こせき）　修（おさむ）	（内線３１１）
道路関係：副　所　長	斉藤（さいとう）　忠則（ただのり）	（内線２０５）
工務第二課長	佐藤（さとう）　金市（きんいち）	（内線４１１）
ダム関係：事業対策官	佐々木（ささき）健一（けんいち）	（内線３０６）
建設専門官	工藤（くどう）　恭一（きょういち）	（内線４０２）

１．湯沢河川国道事務所における平成２４年度事業概要のポイント

①事業別配分額（業務取扱費を除く事業費）

（単位:百万円）

区分	H24予算	H23予算（当初）	倍率 H24/H23
河 川 事 業	3,075	4,159	0.74
うち河川関係	1,938	1,994	0.97
うちダム関係	744	1,652	0.45
うち砂防関係	393	513	0.77
道 路 事 業	2,449	2,650	0.92
事務所合計	5,524	6,809	0.81

②事業のポイント

＜河川事業＞

○鵜巣（うのす）地区（河川改修事業）の完成

○雄物川（おものがわ）中流部（河川改修事業）の推進

○湯沢（ゆざわ）地区（消流雪用水導入事業）の完成

＜砂防事業＞

○八幡平山系（はちまんたいさんけい）直轄砂防事業の推進

＜成瀬（なるせ）ダム事業＞

○転流工工事の継続

＜道路事業＞

新規事業

○「秋田１３号交差点改良等（石成（いしなり）交差点改良）」に新規着手します。

供用事業

○「神宮寺（じんぐうじ）バイパス」の全線暫定供用

継続事業

○「院内（いんない）道路」の工事推進

○「秋田１３号交差点改良等（杉沢新所（すぎさわあらどころ））（杉沢森道上（すぎさわもりみちうえ））（石成（いしなり））歩道整備の推進

○「秋田１３号交差点改良等（醍醐（だいご））交差点改良」の推進

２．河川事業概要

【河川改修事業】

●鵜巣地区は度重なる浸水被害を受けているため、兼用堤防の整備を推進し、平成２４年度は当該地区を完成させます。

●雄物川中流部は度重なる浸水被害を受けているため、堤防の整備を推進し、早期完成を目指します。

【消流雪用水導入事業】

●水量の豊富な雄物川から湯沢市内を流れる中小河川へ導水し、中小河川における排雪による河道閉塞や、これに伴う流雪溝の閉塞による冠水被害等を解消します。平成２４年度は取水施設や導水路の整備を推進し、事業完成を図ります。

【河川工作物関連応急対策事業】

●老朽化した樋門・樋管周辺施設の調査及び機能向上を図ります。

【直轄砂防事業】

●八幡平山系直轄砂防事業の一環として、土砂災害を軽減すべく火山砂防事業を推進します。

・先達川第２砂防堰堤の整備を推進し、平成２４年度の完成を目指します。

・新たに、水沢第３砂防堰堤の事業に着手します。

【多目的ダム建設事業（成瀬ダム）】

●転流工工事（仮排水路トンネル）を継続実施します。

３．道路事業概要（一般国道１３号）

【地域連携推進事業】

●「神宮寺バイパス」は、平成24年度全線暫定２車線供用を目指し、残る2.4㎞の北楢岡～宇留井谷地地区の用地補償、現道部拡幅工事（改良・舗装工事）を行います。

●「院内道路」は、下院内トンネルに工事着手するとともに、改良及び雄勝川の橋梁工事、上院内トンネルの工事を推進します。

【交通事故重点対策事業・交通安全施設等整備事業】

事故ゼロプランを重点的に推進するとともに、交通安全施設等の整備を図ります。

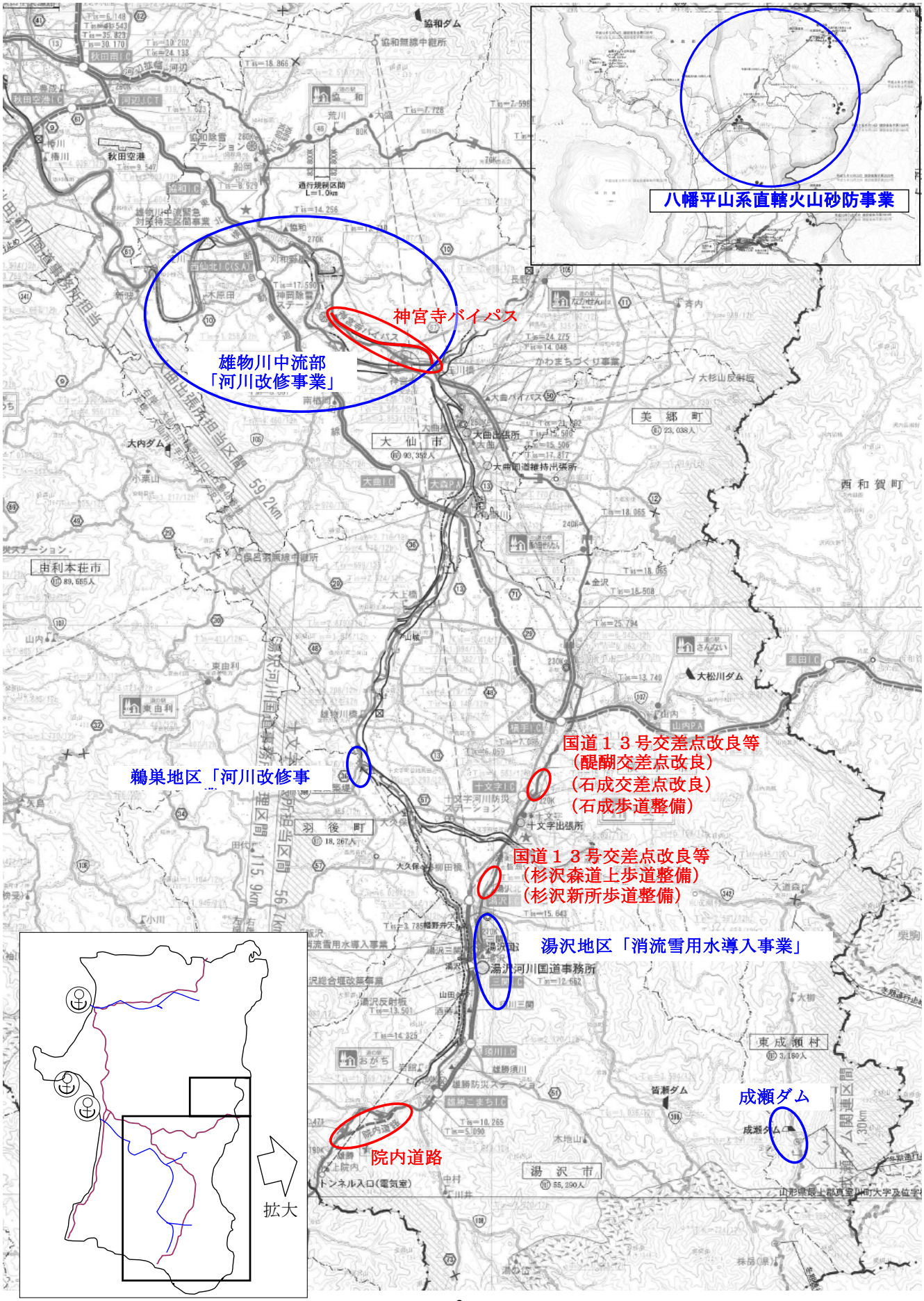
主な事業として

●「秋田１３号交差点改良等（石成交差点改良）」に事業着手します。

●「秋田１３号交差点改良等（杉沢新所歩道整備）」に工事着手するとともに、「秋田１３号交差点改良等（杉沢森道上歩道整備）」「秋田１３号交差点改良等（石成歩道整備）」「秋田１３号交差点改良等（醍醐交差点改良）」の用地買収を推進します。

以上の事業を効果的・効率的に行い、コスト縮減に努めてまいります。

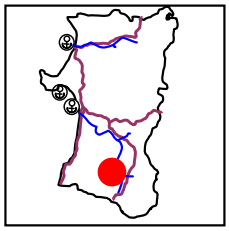
湯沢河川国道事務所事業位置図



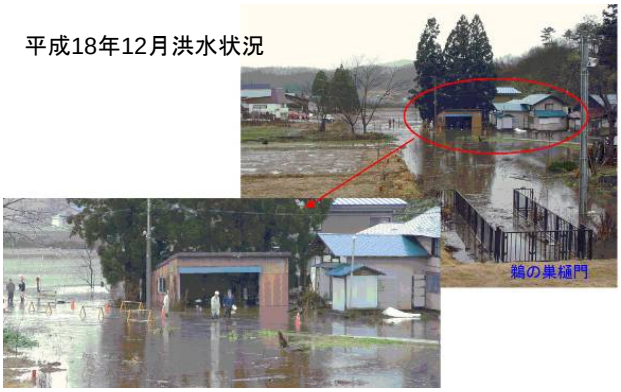
雄物川上流河川改修事業（鵜巣地区）

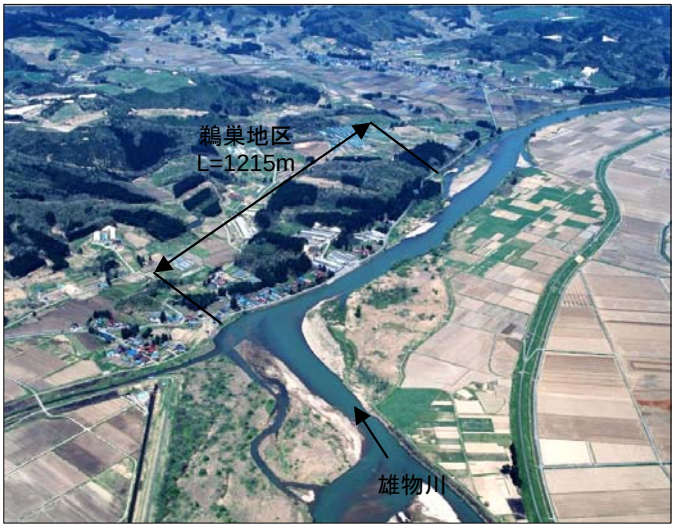
完成	秋田県雄勝郡羽後町

【事業の概要】
　雄物川上流鵜巣地区は、雄物川の洪水により家屋浸水や県道の通行止めが発生しています。道路管理者（秋田県）と共同で兼用堤防の整備を推進し、再度災害防止を図ります。



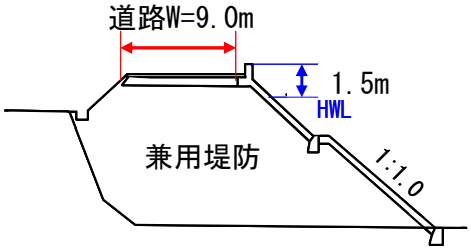
■近年出水の状況







■兼用堤防標準図



【整備効果】
　兼用堤防整備により、雄物川氾濫による家屋浸水、道路通行止めを防ぎ、安全・安心な生活を確保します。

■整備状況



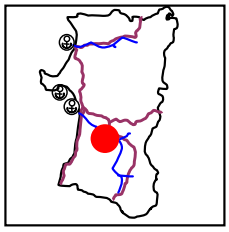


【平成24年度の事業内容】
平成24年度は、下流部の堤防整備を実施し、当該地区を完成させます。

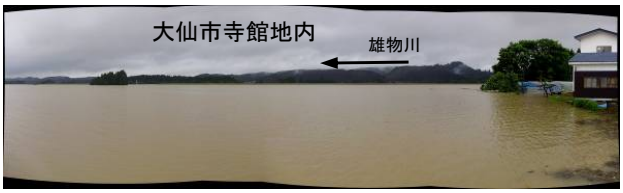
雄物川（おものがわ）上流河川改修事業（中流部）

継続	秋田県大仙（だいせん）市

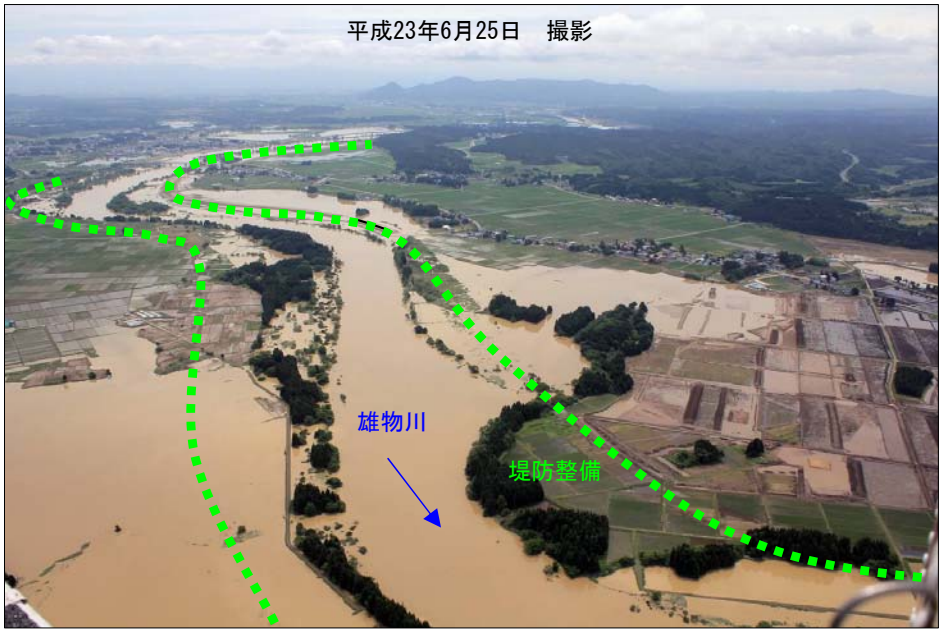
【事業の概要】
　雄物川中流部（※）は無堤地区が多く、著しく治水安全度が低い状況にあるため、雄物川の洪水により、度重なる浸水被害を受けています。堤防整備を推進し再度災害防止を図ります。
※雄物川中流部：淀川合流点～玉川合流点（大仙市協和小種～大仙市神宮寺）



■H23年6月出水の状況







【整備効果】
　堤防整備により、雄物川氾濫による浸水被害を軽減させ、安全・安心な生活を確保します。

■整備状況



堤防施工状況



河川構造物（樋門）施工状況



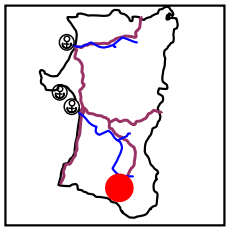
河川構造物（樋門）整備状況

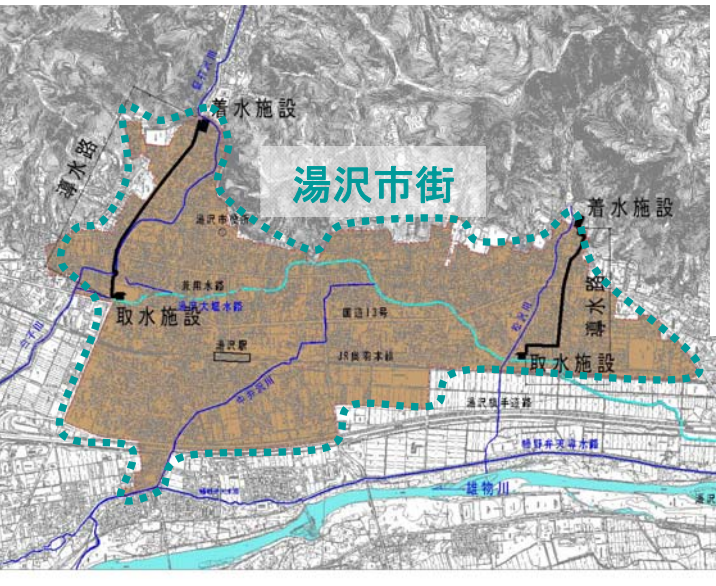
【平成24年度の事業内容】
平成24年度は、用地取得、河川構造物（樋門）、堤防の整備を推進します。

雄物川上流消流雪用水導入事業（湯沢地区）

完成	秋田県湯沢市

【事業の概要】
水量の豊富な雄物川から市内を流れる中小河川へ導水し、排雪による中小河川の河道閉塞や、これに伴う流雪溝の閉塞による冠水被害等を解消します。









▲雪堤で幅が狭められ危険な通学路　▲雪により閉塞した中小河川

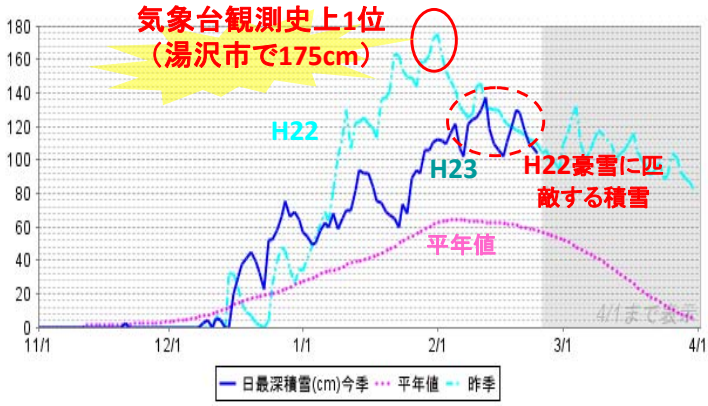
【整備効果】
冬期の積雪による、家屋・宅地の除排雪作業、道路交通の阻害、河道の閉塞を軽減・解消し、安全で快適な生活環境の確保を図ります。

事業効果イメージ



湯沢市街（松沢川）の試験通水による効果（H24年2月）

H23年度積雪状況



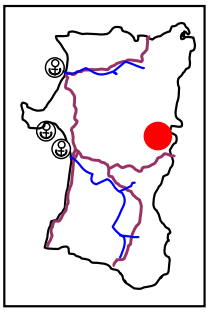
＜H22・H23最深積雪（秋田県湯沢市）＞
（※出典：気象庁HP）

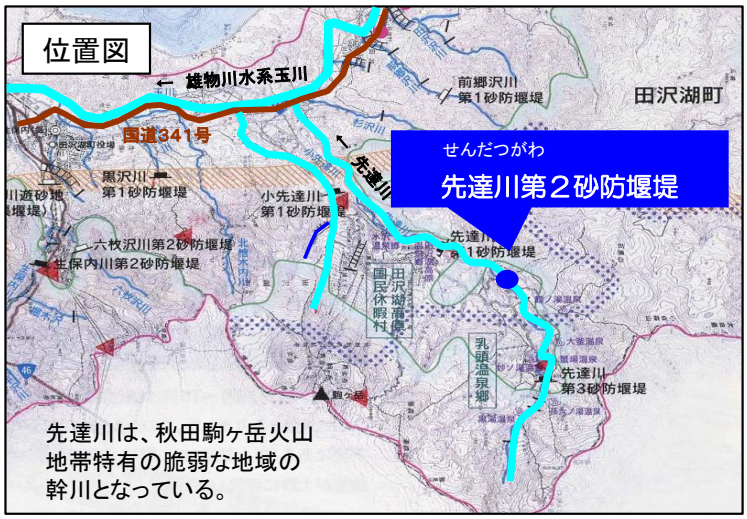
【平成24年度の事業内容】
平成24年度は、取水施設、着水施設、導水路を整備し、事業を完成させます。

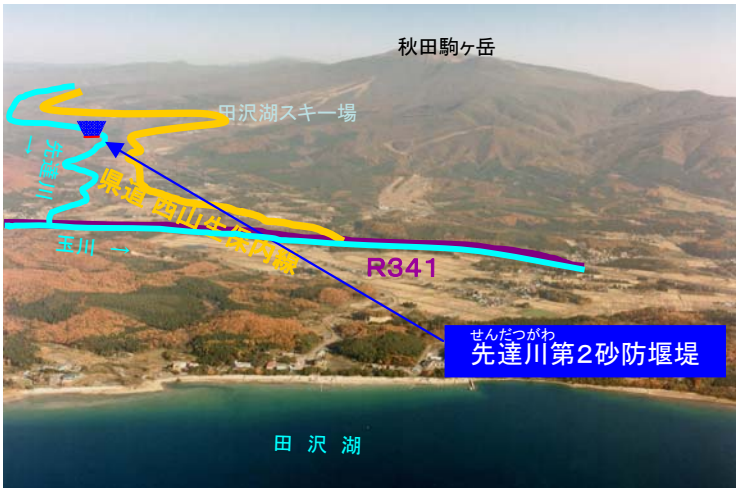
八幡平山系（秋田県）直轄砂防事業（先達川第2砂防堰堤）

完成	秋田県仙北市

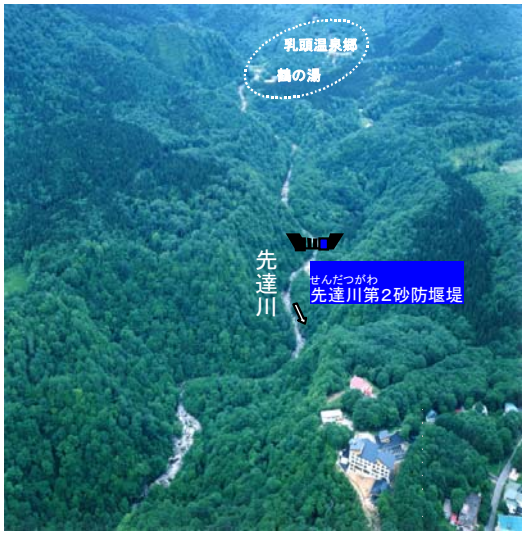
【事業の概要】
八幡平山系は秋田県・岩手県の2県にまたがり、秋田県側には秋田駒ヶ岳・秋田焼山の2つの活火山を有します。大量の不安定土砂の流出による災害防止及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流被害を軽減するため、砂防堰堤群の整備を推進し、大規模土砂災害から保全するものです。







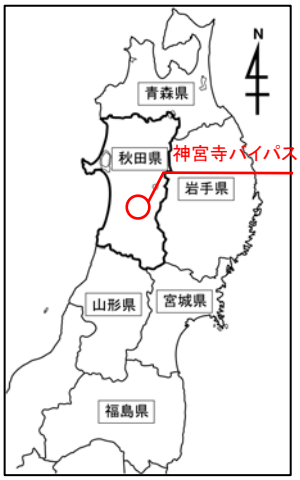
【整備効果】
砂防堰堤の整備により、土砂流出による被害の軽減を図ります。



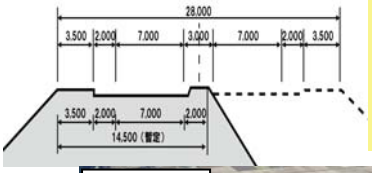


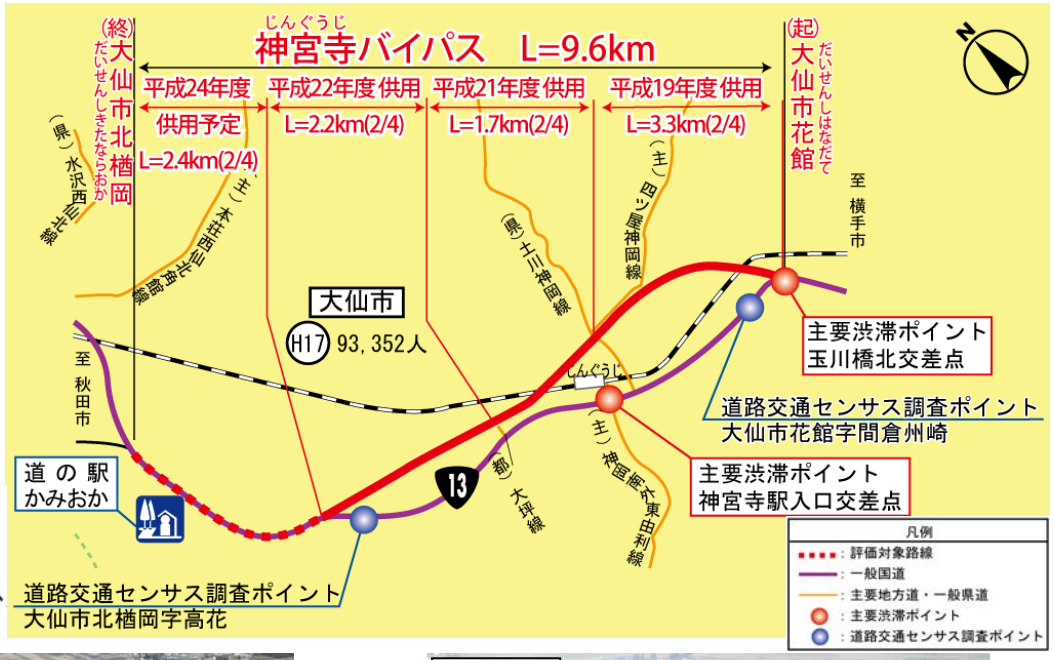
【平成24年度の事業内容】
コンクリート堰堤本体工　1式

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="4">一般国道13号　神宮寺バイパス</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="5">一般国道13号は、福島県福島市と秋田県秋田市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。
　神宮寺バイパスは、大仙市神岡地区における国道13号の交通混雑の解消と冬期における道路交通の安全性の向上等を目的としている。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">事業の概要</td><td>起終点</td><td colspan="2">自：秋田県大仙市花館
至：秋田県大仙市北楢岡</td><td>延　長
供用済</td><td>9.6km
7.2km</td></tr>
<tr><td>道路規格</td><td colspan="2">第1種 第3級 設計速度80km/時</td><td>幅員</td><td>W=12.0m</td></tr>
<tr><td>事業化</td><td>平成10年度</td><td>都市計画決定</td><td colspan="2">平成9年度</td></tr>
<tr><td>用地着手</td><td>平成12年度</td><td>工事着手</td><td colspan="2">平成14年度</td></tr>
</table>



【標準横断図】









事業名	一般国道13号　院内道路			
事業の目的	一般国道13号は、福島県福島市を起点とし、秋田県秋田市に至る約360kmの路線であり、福島県、山形県及び秋田県を結ぶ産業、経済及び文化の発展に大きな役割を果たしている主要幹線道路である。 　院内道路は、災害等発生時における緊急輸送道路の信頼性向上、代替路の確保、冬期交通障害の解消を図るとともに、東北中央自動車道の一部として、秋田県内陸部と山形県内陸部の交流・連携を促進する高規格ネットワークを構築する延長3．0kmの自動車専用道路である。			
事業の概要	起終点	自：秋田県湯沢市上院内 至：秋田県湯沢市下院内		延　長 供用済	3.0km —
	道路規格	第1種　第3級　設計速度80km/時		幅員	W=12.0m
	事業化	平成15年度	都市計画決定	—	
	用地着手	平成19年度	工事着手	平成19年度	



